

# 魚津市の財政状況について

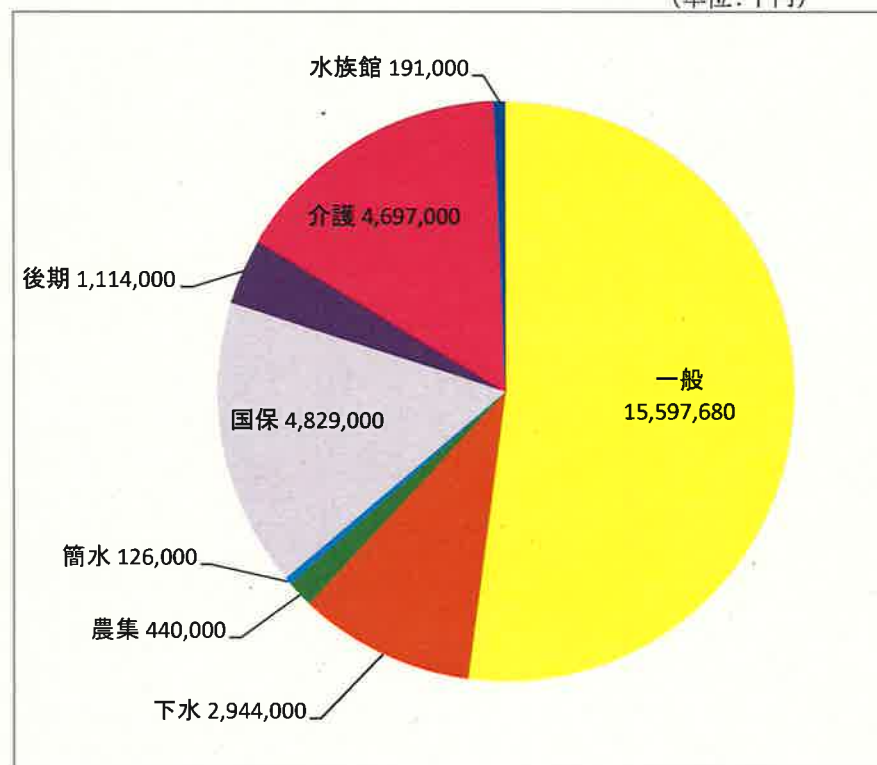
平成29年度魚津市予算規模 (単位:千円)

会計名	平成29年度
一般会計	15,597,680
特別会計	
下水道事業会計	2,944,000
農業集落排水事業会計	440,000
簡易水道事業会計	126,000
国民健康保険事業会計	4,829,000
後期高齢者医療事業会計	1,114,000
介護保険事業会計	4,697,000
水族館事業会計	191,000
小計	14,341,000
合計	29,938,680

(参考)一般会計から特別会計への繰出金 (単位:千円)

会計名	平成29年度
下水道事業会計	837,960
農業集落排水事業会計	295,865
簡易水道事業会計	28,553
国民健康保険事業会計	301,666
後期高齢者医療事業会計	683,630
介護保険事業会計	669,154
水族館事業会計	115,492
計	2,932,320

(単位:千円)



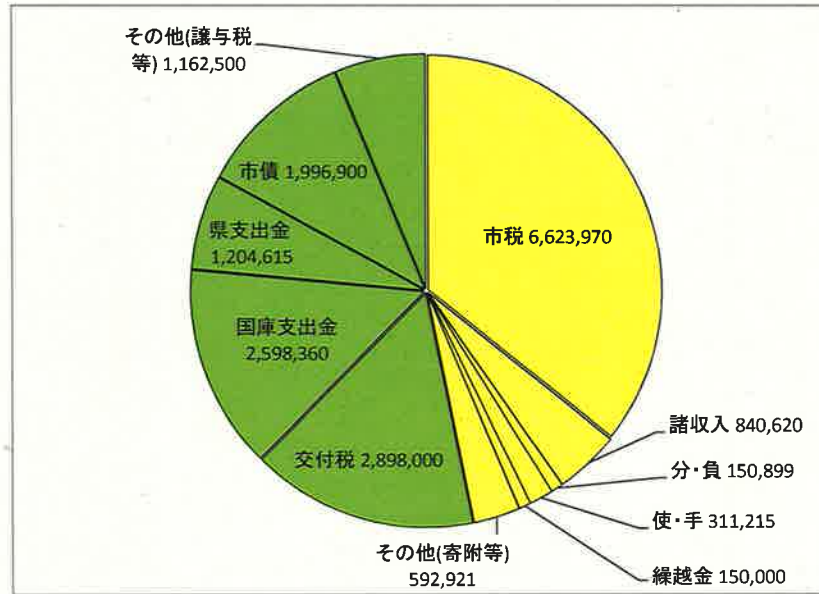
# 平成29年度当初予算

## 一般会計(歳入)

(単位:千円)

区 分	平成29年度
1 市税	6,623,970
2 諸収入	840,620
3 分担金及び負担金	150,899
4 使用料及び手数料	311,215
5 繰越金	150,000
6 その他(寄附金等)	592,921
7 地方交付税	2,898,000
8 国庫支出金	2,598,360
9 県支出金	1,204,615
10 市債	1,996,900
11 その他(地方譲与税等)	1,162,500
一般会計歳入計	18,530,000

(単位:千円)



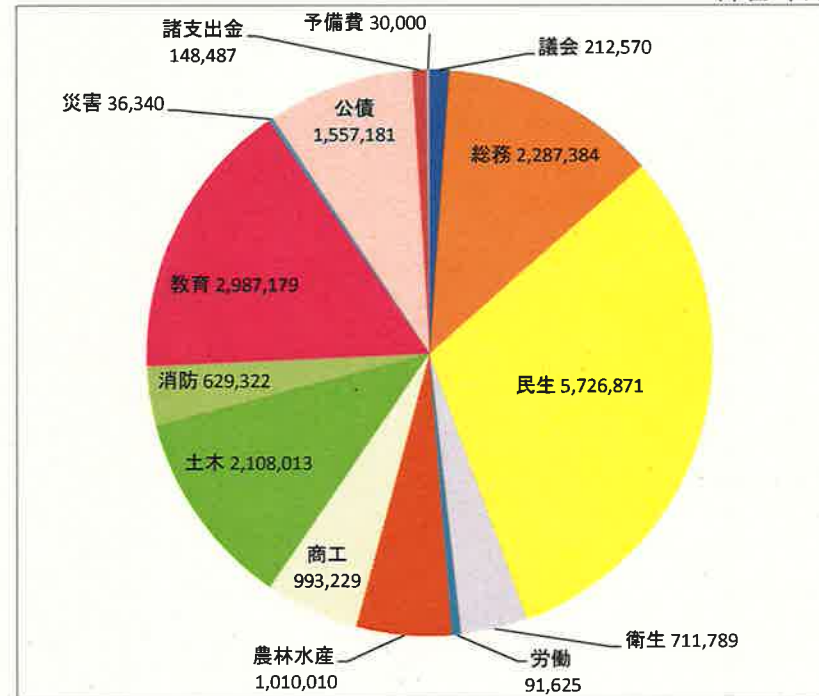
魚津市自主財源  
依存財源

## 一般会計(歳出)

(単位:千円)

区 分	平成29年度
1 議会費	212,570
2 総務費	2,287,384
3 民生費	5,726,871
4 衛生費	711,789
5 労働費	91,625
6 農林水産業費	1,010,010
7 商工費	993,229
8 土木費	2,108,013
9 消防費	629,322
10 教育費	2,987,179
11 災害復旧費	36,340
12 公債費	1,557,181
13 諸支出金	148,487
14 予備費	30,000
合 計	18,530,000

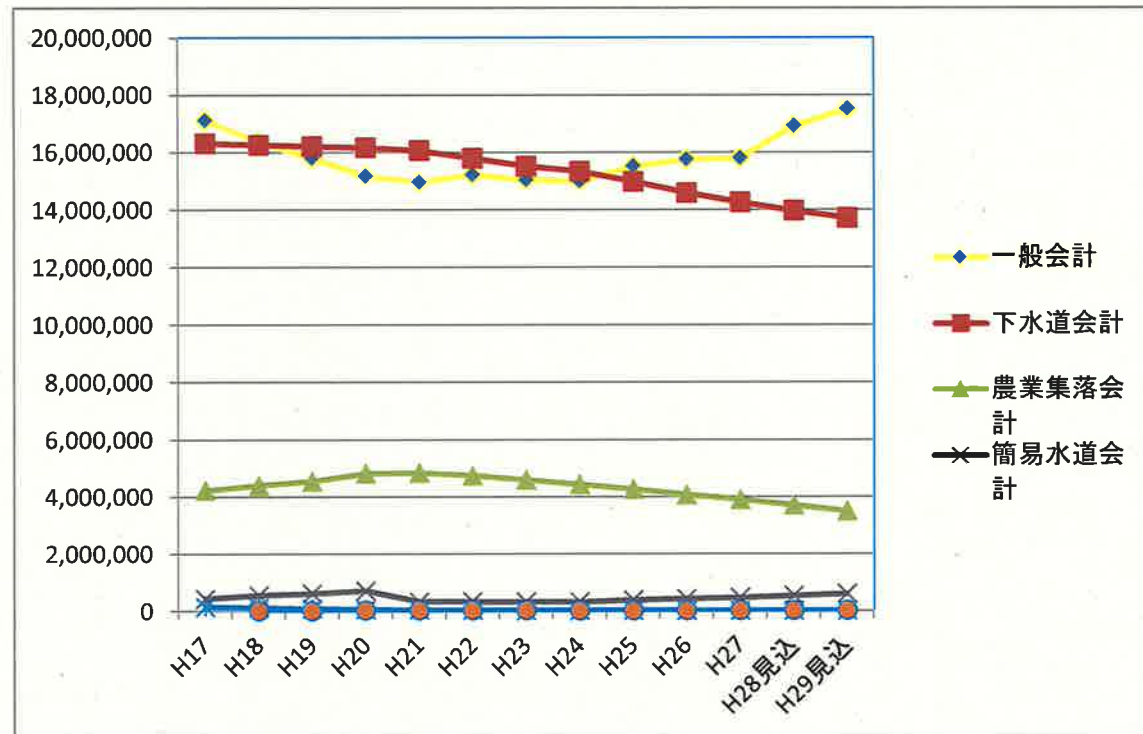
(単位:千円)



## 地方債現在高の推移

(単位:千円)

会計別/年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28見込	H29見込
一般会計	17,119,213	16,363,125	15,802,100	15,181,522	14,968,245	15,222,909	15,038,810	14,993,205	15,518,038	15,751,240	15,806,053	16,920,651	17,508,057
下水道会計	16,303,769	16,253,381	16,201,335	16,157,961	16,057,771	15,784,890	15,512,614	15,331,678	14,974,729	14,578,642	14,251,807	13,959,778	13,705,193
農業集落会計	4,212,062	4,385,672	4,531,582	4,805,558	4,829,125	4,736,965	4,585,741	4,424,501	4,254,183	4,059,226	3,894,072	3,694,684	3,485,518
簡易水道会計	426,154	549,586	608,008	706,590	324,504	329,049	319,775	320,058	383,009	423,467	462,742	529,841	598,631
介護保険会計	133,400	102,800	72,200	41,700	27,800	13,900	0	0	0	0	0	0	0
水族館会計		0	0	18,600	16,822	15,026	13,213	11,381	9,531	7,663	5,776	3,869	1,943



歳入決算額及び財政調整基金残高の推移

(単位:千円)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28見込	H29見込
財政調整基金残高	1,296,120	797,437	640,807	623,348	905,056	1,223,702	1,124,159	1,135,038	1,475,469	1,228,110	1,338,735	781,595	562,935

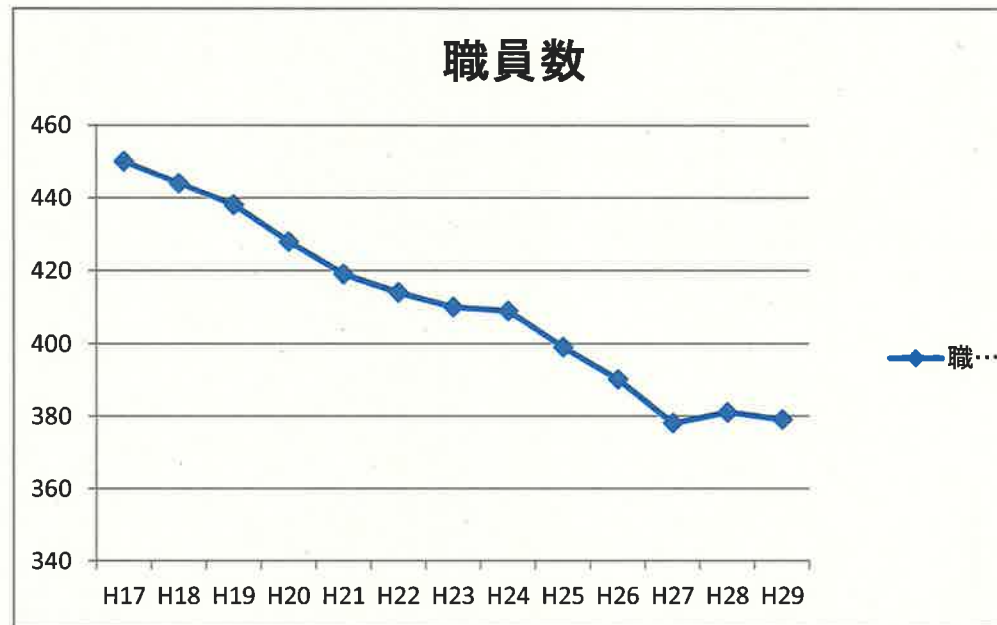


職員数の推移(当初予算ベース)

(単位:人)

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
職員数	450	444	438	428	419	414	410	409	399	390	378	381	379

※消防派遣49 ※消防派遣48 ※消防派遣45 ※消防派遣45 ※消防派遣43



## 魚津市の財政状況

(全国都市財政年報 H27 決算 790 市+23 区)

◆**経常収支比率 88.5%** → 全国第 313 位 (県内 9 位 黒部 4 位、滑川 6 位、富山 10 位)

財政状況の「ゆとりの度合い」を表す指標で、この比率が高いほど政策等に自由に使えるお金(一般財源)が少ないことを示していますので、低下するよう努めています。

家計に例えると、毎月の給料に対して、食費や医療費、住宅ローンの返済など、毎月決まって支払わなければならない経費の割合がどれくらいになるかを計算したものです。残ったお金でどれくらい旅行や習い事に行けるかを考えますので、風邪などひかず医療費などかからないようにしたいと思うのに似ています。

経常的というのは、定期的に、コンスタントにという意味ですので、臨時的に入るボーナスやアルバイト収入は考慮しません。

◆**自主財源比率 48.91%** → 全国第 262 位 (県内 3 位 滑川 1 位、富山 2 位、黒部 5 位)

自主財源とは、市税や住民票の交付手数料など市が自主的に収入できる財源で、収入総額に占める自主財源(収入)が高いほど、安定的で自主的な財政運営が可能であるといえます。

家計に例えると、サラリーマン世帯の給料や商店を営む世帯の売上金、貯金の満期受け取り金、株式の配当金など自分で稼いだお金の割合が、その他の仕送りやカードローンなどで得た収入との合計額に対し、どれくらいの割合になるかを計算したものです。合計収入には、借金も含めて計算しますので、来月以降のやりくりを考えると借金(依存財源)の割合を低く、自主財源の割合を高くしたいと考えるのに似ています。

◆**義務的経費比率 39.98%** → 全国第 137 位(県内 5 位 黒部 1 位、滑川 4 位、富山 9 位)

義務的経費とは、歳出のうち、その支出が義務づけられ任意で節減できない経費をいい、人件費、扶助費(高齢・障がい・児童等の福祉的経費)、公債費(借金の返済)で、この比率が低いほど政策等に自由に使えるお金が多いことを示しています

家計に例えると、支出総額の内、家賃や医療費、ローン返済にあてた支払がどれくらいの割合なのかを計算したものです。この比率を低く抑えることができれば、お酒やたばこなどの、嗜好品の購入比率を上げることが可能となりますね。

◆投資的経費比率 13.93% → 全国第 358 位(県内 6 位 黒部 1 位、富山 3 位、滑川 7 位)

投資的経費とは、歳出のうち、その支出が資本形成に向けられるものをいい、普通建設事業、災害復旧事業等です。

家計に例えると、住宅を新築したり、新車を購入する経費に似ています。住宅の老朽化に伴う、リフォームも投資的経費に含めて計算いたします。

◆公債費負担比率 11.8% → 全国第 219 位(県内 2 位 滑川 1 位、黒部 5 位、富山 10 位)

借金の返済額の状況から財政状況のゆとりを判断する指標です。この比率が低いほど政策等に自由に使えるお金(一般財源)が多いことを示しています。

◆財政力指数 0.663 → 全国第 345 位(県内 5 位 富山 1 位、滑川 3 位、黒部 4 位)

自治体の財政力の強弱を示す指数で、1 に近いほど(あるいは 1 を超える)財政に余裕があるとされています。

◆積立金残高/標準財政規模 27.33% → 全国第 585 位(県内 7 位)

滑川 2 位、黒部 5 位、富山 10 位)

家計に例えると、年間の給与額に対する貯金残高の割合となります。

◆市債残高/標準財政規模 151.32% → 全国第 247 位(県内 2 位)

滑川 1 位、富山 7 位、黒部 9 位)

家計に例えると、年間の給与額に対するローン残高の割合となります。